

ユーカリの木の伐採に際して、 いつも主につながる者でありますように

by NCM2 CHOIR

全5page

引っ越した我が家の前には、
こんなに大きなユーカリの木がありました。



この家ができたのが、1932年ということですから、この木はもっと前から
あったのかもしれない。
なんともいえない良い香りがどこかでするのかと思うと
この木からでした。

けれど、
この木は恐ろしい木であることを私たちは肝に銘じていました。

何年か前のエルニニョの際、親しい友人の息子さんが、大雨の日に大学のキャンパスの中のストップサインで止まったまさにその時にこの木が倒れてきて、即死したという悲しい事件があったからです。

今年の冬の大雨でもあちこちで、この木が倒れたということが、ニュースで報じられていました。



根が浅いのです。

早急に切らないと、私達の寝室に倒れてくる可能性大でした。



あのオークランドの
山の大火事もユーカリの木が
原因でした。

この木があると、風情が良く、
また匂いも良いのですが、
人命にはかえられません。

そこで、
切ることになりました。

かなり高い木なので、たいへんです。



ガーディナーの親方が
片方で、紐をもち、切る人は命
綱(?)を登山者のように腰に
まいていました。

まず枝を先に切り、
その枝を少し残しておいて、
足場にしていました。

見ている方が、ひやひやで、落ちないようにと祈らざるをえませんでした。
枝を払った後は太い幹を50センチくらいずつ、切っては下に落としていま
した。



2時間もすると一応下まで切ることができたではありませんか。



ヨハネ伝の15：6の御言葉、
「人が私につながっていないならば、枝のように外に投げ捨てられて枯れる。人々はそれをかき集め、火に投げ入れて、焼いてしまうのである」を
思い浮かべました。

私たちが主なるイエス様につながっていなければ、
ユーカリのようにたとえ、良い匂いを放つても、害を与える者として、切ら
れて火に投げ入れられてしまう事でしょう



PS このユーカリの薪はガーディナさん曰く、良い匂いなので、BBQ に好まれる
そうです。

竹下弘美



折尾クリスチャンチャーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原 2-12-6

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00)

メール oriochurch@outlook.jp